

2020年3月期第1四半期 決算補足資料

【業績情報（IFRS）】

第1四半期連結〈累計期間〉

売上収益地域区分表

1. 連結損益の詳細（フルベース）
2. 連結損益の詳細（コアベース）
3. 為替レートの状態
4. フルベースからコアベースへの調整表
5. 地域別売上収益
6. 設備投資・償却費の状態
7. 主要製品の売上
8. 連結財政状態計算書

【開発品情報】

新薬開発状況

（注意事項）

この資料に記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害などがありますが、これらに限定されるものではありません。また、この資料に含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

売上収益地域区分表

2020年3月期から、組織体制の変更に伴い、売上収益の地域区分を日本、米国、エスタブリッシュドマーケット、グレーターチャイナ、インターナショナル、その他に再構成しました。地域区分は下表の通りです。

地域区分	主な売上構成要素
日本	・日本市場 ・国内製品ライセンス収入など
米国	・米国
エスタブリッシュドマーケット	・欧州、カナダ、オーストラリア
グレーターチャイナ	・中国、香港、台湾
インターナショナル	・販社売上 ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国 ・輸出売上等
その他	・事業譲渡に伴う繰延収益 ・米国外からのタルセバに係るロイヤルティ等

【業績情報(累計期間)】

1. 連結損益の詳細(フルベース)

(単位:億円)

	19/3期 1Q	20/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	3,291	3,341	50	1.5%
売上原価	707	705	-2	-0.3%
(売上収益比率)	21.5%	21.1%		
売上総利益	2,583	2,636	53	2.0%
販売費・一般管理費	1,129	1,175	46	4.1%
(売上収益比率)	34.3%	35.2%		
内、広告費・販売促進費	368	413	45	12.2%
内、人件費	444	436	-8	-1.8%
内、その他	317	326	9	2.9%
研究開発費	521	535	14	2.6%
(売上収益比率)	15.8%	16.0%		
無形資産償却費	90	72	-19	-20.6%
持分法による投資損益	-3	-7	-5	-
その他の収益	42	45	3	6.7%
内、有形固定資産売却益	36	0	-36	-99.7%
内、為替差益	-	5	5	-
その他の費用	247	122	-126	-50.8%
内、条件付対価に係る公正価値変動額	1	114	113	-
内、減損損失	30	-	-30	-
内、リストラクチャリング費用	88	-	-88	-
内、為替差損	16	-	-16	-
内、訴訟関係費用	110	2	-108	-98.0%
営業利益	635	771	135	21.3%
(売上収益比率)	19.3%	23.1%		
金融収益	12	8	-4	-34.3%
金融費用	2	13	11	504.1%
税引前四半期利益	645	765	120	18.7%
(売上収益比率)	19.6%	22.9%		
法人所得税費用	99	180	81	81.3%
四半期利益	546	585	40	7.3%
(売上収益比率)	16.6%	17.5%		
四半期包括利益	709	270	-438	-61.8%

20/3期 通期予想	増減率
12,240	-6.3%
2,110	1.1%
17.2%	
2,290	-6.1%
18.7%	
2,300	-7.6%
18.8%	
1,820	-18.1%
14.9%	

2. 連結損益の詳細(コアベース)

(単位:億円)

	19/3期 1Q	20/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	3,291	3,341	50	1.5%
売上原価	707	705	-2	-0.3%
(売上収益比率)	21.5%	21.1%		
売上総利益	2,583	2,636	53	2.0%
販売費・一般管理費	1,129	1,175	46	4.1%
(売上収益比率)	34.3%	35.2%		
内、広告費・販売促進費	368	413	45	12.2%
内、人件費	444	436	-8	-1.8%
内、その他	317	326	9	2.9%
研究開発費	521	535	14	2.6%
(売上収益比率)	15.8%	16.0%		
無形資産償却費	90	72	-19	-20.6%
持分法による投資損益	-3	-7	-5	-
営業利益	840	847	7	0.8%
(売上収益比率)	25.5%	25.4%		
金融収益	12	8	-4	-34.2%
金融費用	2	13	11	504.1%
税引前四半期利益	850	842	-8	-0.9%
(売上収益比率)	25.8%	25.2%		
法人所得税費用	146	171	24	16.7%
四半期利益	704	671	-32	-4.6%
(売上収益比率)	21.4%	20.1%		

20/3期 通期予想	増減率
12,240	-6.3%
2,110	1.1%
17.2%	
2,400	-13.8%
19.6%	
1,940	-22.2%
15.8%	

3. 為替レートの状態

	19/3期 1Q	20/3期 1Q	19/3 期末	19/6 期末
USD/円	109	110	111	108
EUR/円	130	123	125	122

20/3期 通期予想
110
125

*為替レートの変動の影響：売上収益51億円減少、コア営業利益4億円増加

*未実現利益消去に係る為替の影響：売上原価率 -1.1ppt

4. フルベースからコアベースへの調整表

(単位:億円)

	19/3期 1Q			20/3期 1Q		
	IFRS実績	調整	コア実績	IFRS実績	調整	コア実績
売上収益	3,291	-	3,291	3,341	-	3,341
売上原価	707	-	707	705	-	705
売上総利益	2,583	-	2,583	2,636	-	2,636
販売費及び一般管理費	1,129	-	1,129	1,175	-	1,175
研究開発費	521	-	521	535	-	535
無形資産償却費	90	-	90	72	-	72
持分法による投資損益	-3	-	-3	-7	-	-7
その他の収益*	42	-42	-	45	-45	-
その他の費用*	247	-247	-	122	-122	-
営業利益	635	205	840	771	77	847
金融収益	12	-	12	8	-	8
金融費用	2	-	2	13	-	13
税引前四半期利益	645	205	850	765	77	842
法人所得税費用	99	47	146	180	-9	171
四半期利益	546	158	704	585	86	671

* コアベースの実績では「その他の収益」及び「その他の費用」は除外されています。

「その他の収益」及び「その他の費用」には、有形固定資産の除売却に伴う損益、減損損失、リストラクチャリング費用、訴訟関係費用のほか、為替差損益などが含まれています。

5. 地域別売上収益

(単位:億円)

	19/3期 1Q	20/3期 1Q	増減	増減率
外部売上収益	3,291	3,341	50	1.5%
日本	941	985	43	4.6%
(構成比)	28.6%	29.5%		
米国	1,027	1,053	26	2.5%
(構成比)	31.2%	31.5%		
エスタブリッシュドマーケット	769	758	-11	-1.4%
(構成比)	23.4%	22.7%		
グレーターチャイナ	137	147	10	7.4%
(構成比)	4.2%	4.4%		
インターナショナル	321	342	21	6.6%
(構成比)	9.8%	10.2%		
その他	95	56	-39	-41.0%
(構成比)	2.9%	1.7%		

注1: エスタブリッシュドマーケット: 欧州、カナダ、オーストラリア

注2: グレーターチャイナ: 中国、香港、台湾

注3: インターナショナル: ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

20/3期 通期予想	増減率
12,240	-6.3%
3,168	-14.3%
25.9%	
4,047	-4.0%
33.1%	
2,868	-4.4%
23.4%	
709	13.6%
5.8%	
1,244	1.4%
10.2%	
204	-32.4%
1.7%	

6. 設備投資・償却費の状況

(単位:億円)

	19/3期 1Q	20/3期 1Q	増減	増減率
設備投資額 (計上ベース)				
連結	62	133	71	114.2%
減価償却費 (有形固定資産)				
連結	52	80	28	53.5%
償却費 (無形資産(ソフトウェア等含む))				
連結	109	90	-19	-17.2%

注: IFRS第16号「リース」適用による影響

設備投資額 +7億円、減価償却費 (有形固定資産) +32億円

20/3期 通期予想	増減率
410	47.8%
225	7.1%
275	-35.2%

7. 主要製品の売上

1) グローバル

(単位:億円)

	19/3期 1Q	20/3期 1Q	増減	増減率
XTANDI/イクスタンジ	812	960	148	18.2%
米国	393	469	76	19.3%
米国以外	419	491	72	17.3%
内、日本	85	93	8	9.2%
内、EM	294	336	42	14.5%
内、グレーターチャイナ	4	5	1	24.1%
内、インターナショナル	36	57	21	58.7%
ゾスバタ	-	25	25	-
日本	-	6	6	-
米国	-	19	19	-
ベタニス/ミラベトリック/ベツトミガ	344	399	55	16.1%
日本	81	94	13	16.6%
米国	183	213	30	16.4%
EM	62	68	6	9.6%
グレーターチャイナ	3	4	1	52.0%
インターナショナル	16	21	5	29.2%
ベシケア	249	136	-114	-45.6%
日本	61	57	-3	-5.3%
米国	95	2	-93	-97.8%
EM	78	61	-18	-22.4%
グレーターチャイナ	4	5	1	14.6%
インターナショナル	11	11	-1	-6.6%
プログラフ	522	504	-18	-3.4%
日本	122	122	0	0.2%
米国	38	32	-6	-15.9%
EM	197	177	-20	-10.1%
グレーターチャイナ	68	77	9	13.2%
インターナショナル	97	96	-1	-1.0%
ハルナール/オムニック	114	109	-5	-4.7%
ファンガード/マイカミン	88	90	3	3.2%
エリガード	41	36	-5	-11.7%

20/3期 通期予想	増減率
3,642	9.3%
1,789	8.6%
1,853	10.1%
355	9.7%
1,284	7.9%
31	41.5%
183	23.6%
151	-
39	-
113	-
1,606	9.1%
339	3.6%
881	9.1%
274	8.1%
24	92.5%
88	23.2%
418	-56.0%
191	-14.2%
27	-92.7%
138	-53.1%
20	4.9%
43	-6.7%
1,877	-4.1%
424	-6.6%
103	-26.6%
686	-7.9%
353	12.7%
311	2.1%
469	-1.1%
321	-6.9%
146	-1.6%

注1: 個別製品の売上のうち、日本の売上は仕切価ベース

注2: EM (エスタブリッシュドマーケット) : 欧州、カナダ、オーストラリア

注3: グレーターチャイナ: 中国、香港、台湾

注4: インターナショナル: ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

2) 地域別売上収益

①日本

(単位:億円)

	19/3期 1Q	20/3期 1Q	増減	増減率
<グローバル(再掲)>				
イクスタンジ	85	93	8	9.2%
ゾスバタ	-	6	6	-
ベタニス	81	94	13	16.6%
ベシケア	61	57	-3	-5.3%
プログラフ(グラセプター含む)	122	122	0	0.2%
ハルナール	15	12	-3	-17.2%
ファンガード	18	20	2	9.5%

20/3期 通期予想	増減率
355	9.7%
39	-
339	3.6%
191	-14.2%
424	-6.6%
41	-20.5%
70	-7.0%

<主要製品>

スーグラ [ファミリー]	49	60	11	22.2%
内、スージャヌ	15	21	6	43.9%
レパーサ	6	8	2	30.1%
リンゼス	8	14	6	76.4%
ビーリンサイト	-	10	10	-
イベニティ	-	35	35	-
セレコックス	128	131	3	2.2%
シムビコート	105	110	4	4.0%
ジェニナック	21	22	1	5.4%
ワクチン	32	33	1	2.9%
ゴナックス	12	13	1	8.8%
シムジア	24	24	0	1.6%
ミカルデイス [ファミリー]	67	53	-14	-21.2%
ポノテオ	33	18	-15	-46.2%
リピトール	42	37	-5	-12.6%
マイスリー	29	25	-3	-11.9%
日本市場の合計	930	979	49	5.3%

254	42.5%
66	68.5%
496	0.4%
80	-4.3%
101	-66.0%
52	9.7%
109	16.2%
135	-40.0%
55	-38.3%
125	-17.4%
95	-11.6%
3,138	-14.3%

注: 製品毎の売上の開示は仕切価ベース

②米国

(単位: M\$)

	19/3期 1Q	20/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	942	958	16	1.7%
XTANDI	361	427	66	18.4%
ゾスパタ	-	17	17	-
ミラベトリック	168	194	26	15.5%
ベシケア	87	2	-85	-97.8%
プログラフ	35	29	-6	-16.6%
マイカミン	22	26	4	19.0%
アンビソーム	27	27	-0	-1.2%
クレセンバ	29	37	8	27.7%
スキャン	182	185	3	1.7%
タルセバ	32	15	-17	-54.0%

20/3期 通期予想	増減率
3,679	-3.2%
1,627	9.5%
102	-
801	10.0%
25	-92.6%
94	-26.0%
89	-8.0%
111	0.9%
143	21.0%
669	-3.0%

③エスタブリッシュドマーケット

(単位: M€)

	19/3期 1Q	20/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	591	613	23	3.8%
XTANDI	226	272	46	20.6%
ベットミガ	47	55	7	15.4%
ベシケア	60	49	-11	-18.3%
プログラフ	151	143	-8	-5.3%
オムニック	17	17	-0	-2.2%
マイカミン	17	15	-2	-11.2%
エリガード	27	25	-2	-8.3%

20/3期 通期予想	増減率
2,294	-1.8%
1,027	10.8%
219	11.1%
110	-51.9%
549	-5.4%
66	-5.8%
50	-15.9%
96	-5.4%

注: エスタブリッシュドマーケット: 欧州、カナダ、オーストラリア

④グレーターチャイナ

(単位: 億円)

	19/3期 1Q	20/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	137	147	10	7.4%
XTANDI	4	5	1	24.1%
ベットミガ	3	4	1	52.0%
ベシケア	4	5	1	14.6%
プログラフ	68	77	9	13.2%
ハルナール	32	33	1	3.0%
マイカミン	8	9	1	10.9%
エリガード	1	1	0	21.1%
フェブリク	6	6	-0	-2.4%

20/3期 通期予想	増減率
709	13.6%
31	41.5%
24	92.5%
20	4.9%
353	12.7%
164	8.1%
37	5.2%
3	24.8%
44	74.3%

注: グレーターチャイナ: 中国、香港、台湾

⑤インターナショナル

(単位: 億円)

	19/3期 1Q	20/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	321	342	21	6.6%
XTANDI	36	57	21	58.7%
ベットミガ	16	21	5	29.2%
ベシケア	11	11	-1	-6.6%
プログラフ	97	96	-1	-1.0%
ハルナール	45	43	-2	-4.8%
マイカミン	15	14	-1	-7.9%

20/3期 通期予想	増減率
1,244	1.4%
183	23.6%
88	23.2%
43	-6.7%
311	2.1%
180	0.2%
52	5.8%

注: インターナショナル: ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

8. 連結財政状態計算書

(単位:億円)

	19/3期 期末	20/3期 1Q末	増減
資産合計	18,976	19,270	294
非流動資産合計	10,405	11,069	664
有形固定資産	1,735	2,519	784
のれん	2,259	2,201	-57
無形資産	4,297	4,237	-60
売上債権及びその他の債権	252	236	-16
持分法で会計処理されている投資	37	51	15
繰延税金資産	930	909	-21
その他の金融資産	815	812	-2
その他の非流動資産	81	103	22
流動資産合計	8,572	8,201	-370
棚卸資産	1,515	1,505	-10
売上債権及びその他の債権	3,426	3,588	162
未収法人所得税	201	227	26
その他の金融資産	26	39	13
その他の流動資産	251	248	-3
現金及び現金同等物	3,111	2,594	-517
売却目的で保有する資産	41	0	-41

(単位:億円)

	19/3期 期末	20/3期 1Q末	増減
資本及び負債合計	18,976	19,270	294
資本合計	12,584	12,497	-87
親会社の所有者に帰属する持分合計	12,584	12,497	-87
資本金	1,030	1,030	-
資本剰余金	1,773	1,771	-2
自己株式	-1,646	-46	1,600
利益剰余金	9,920	8,544	-1,375
その他の資本の構成要素	1,508	1,198	-309
負債合計	6,393	6,773	381
非流動負債合計	1,416	2,132	716
仕入債務及びその他の債務	16	16	0
繰延税金負債	52	51	-1
退職給付に係る負債	402	411	9
引当金	54	62	8
その他の金融負債	529	1,296	767
その他の非流動負債	364	296	-68
流動負債合計	4,977	4,642	-335
仕入債務及びその他の債務	1,853	1,400	-452
未払法人所得税	176	244	68
引当金	228	109	-119
その他の金融負債	141	435	294
その他の流動負債	2,559	2,453	-107
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	19	-	-19

新薬開発状況

当社が日本・米国・欧州・中国において承認取得を目指す対象疾患での開発状況を掲載しています。

2019年7月現在

前回の決算発表時(2019年4月25日)からの変更箇所を下線

重点後期開発品とその価値最大化

疾患領域	一般名 開発コード (製品名)	モダリティ/テクノロジー	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階*	剤形	自社**/導入	備考
がん	エンザルタミド MDV3100 (イクスタンジ®)	低分子	アンドロゲン受容体阻害剤	転移性去勢抵抗性前立腺がん	中国 申請(2018年3月)	経口	Pfizer	
				転移性ホルモン感受性前立腺がん	米国 申請(2019年6月) 欧州 申請(2019年7月) 日本 P-III			
				非転移性ホルモン感受性前立腺がん	P-III			
	ギルテリチニブ ASP2215 (ノスパタ®)	低分子	FLT3阻害剤	急性骨髄性白血病 (再発又は難治性)	欧州 申請(2019年2月) 中国 P-III	経口	自社	
				急性骨髄性白血病 (寛解導入化学療法後の維持療法)	P-III			
				急性骨髄性白血病 (造血幹細胞移植後の維持療法)	P-III			
				急性骨髄性白血病 (未治療、強力な化学療法不適応)	P-III			
				急性骨髄性白血病 (未治療、強力な化学療法適応)	P-III			
	エンホルツマブ ベドチン ASG-22ME	抗体薬物複合体(ADC)	ネクチン4を標的とする ADC	白金製剤およびPD-1/PD-L1阻害剤による治療歴のある局所進行性または転移性尿路上皮がん	米国 申請(2019年7月)	注射	自社 [Seattle Geneticsと 共同開発]	
				尿路上皮がん	P-III			
ゾルベツキシマブ IMAB362	抗体	抗Claudin 18.2 モノクローナル抗体	胃腺がんおよび食道胃接合部腺がん	P-III	注射	自社 (Ganymed)		
			膵臓腺がん	P-II				
泌尿器および 腎疾患	ロキサデュスタット ASP1517/FG-4592	低分子	HIF安定化剤	慢性腎臓病(透析期)に伴う貧血	日本 申請(2018年9月) 欧州 P-III	経口	FibroGen	アステラスの 権利範囲は、 日本、欧州、 独立国家共 同体(CIS)、 中東、南ア フリカ等
				慢性腎臓病(保存期)に伴う貧血	日本 P-III 欧州 P-III			
				化学療法に伴う貧血	P-II			
その他	fezolinetant ESN364	低分子	NK3受容体拮抗剤	更年期に伴う血管運動神経症状	P-III	経口	自社 (Ogeda)	

* 特に記載のない場合、グローバルで開発を行っています。開発段階が地域ごとに異なる場合は、最も進んでいるものを記載しています。一部の地域のみで開発している品目については、その地域を記載しています。

** 共同研究により創出された化合物を含みます。

前回の決算発表時(2019年4月)からの変更点:

エンザルタミド(MDV3100): 転移性ホルモン感受性前立腺がんを適応症として、2019年6月に米国で、2019年7月に欧州で申請した。

エンホルツマブ ベドチン(ASG-22ME): 白金製剤およびPD-1/PD-L1阻害剤による治療歴のある局所進行性または転移性尿路上皮がんを適応症として、2019年7月に米国で申請した。

fezolinetant(ESN364): 更年期に伴う血管運動神経症状を対象とした開発がPhase 3に進展した。

Focus Area アプローチ

分類 (バイオロジー)	一般名 開発コード (製品名)	モダリティ/ テクノロジー	疾患領域	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階*	剤形	自社**/導入	備考
がん免疫	ASP8374/PTZ-201	抗体	がん	抗TIGIT抗体	がん	P- I	注射	自社 (Potenza Therapeutics)	
	ASP1948/PTZ-329	抗体	がん	抗NRP1抗体	がん	P- I	注射	自社 (Potenza Therapeutics)	
	ASP1951/PTZ-522	抗体	がん	GITRアゴニスト抗体	がん	P- I	注射	自社 (Potenza Therapeutics)	
	ASP9801	腫瘍溶解性 ウイルス	がん		がん	P- I	注射	鳥取大学 [共同研究により創出]	
	ASP7517	細胞医療 (人エアジュバント ベクター細胞)	がん		がん	P- I	注射	理化学研究所との オプション契約	
再生	ASP7317	細胞医療	眼科疾患	網膜色素上皮細胞	萎縮型加齢黄斑変性、Stargardt 病	P- II	注射	自社 (Astellas Institute for Regenerative Medicine)	
	FX-322	低分子	耳疾患	有毛細胞の前駆細胞 活性化剤 (GSK-3阻害薬と HDAC阻害薬の併用)	感音難聴	P- II	注射	Frequency Therapeutics	アステラスの 権利範囲は 米国を除く 全世界
抗原特異的 免疫調節 (ASIM)	ASP0892	次世代型ワクチン (LAMP-Vax テクノロジー)	免疫科学		ピーナッツアレルギー	P- I	注射	Immunomic Therapeutics	
	ASP3772	次世代型ワクチン (MAPS テクノロジー)	感染症	多重抗原提示システム (MAPS)技術を利用した 肺炎球菌ワクチン	肺炎球菌感染症の予防	P- II	注射	Affnivax	
ミトコンドリア	ASP1128/MA-0217	低分子	腎疾患	PPAR δ 調節剤	急性腎障害	P- II	注射	自社 (Mitobridge)	
	ASP0367/MA-0211	低分子	筋疾患		デュシェンヌ型筋ジストロフィー	P- I	経口	自社 (Mitobridge)	
その他	reldesemtiv CK-2127107	低分子	筋疾患	速筋トロポニン活性化剤	脊髄性筋萎縮症	P- II	経口	Cytokinetics	
					筋萎縮性側索硬化症	P- II			

* 特に記載のない場合、グローバルで開発を行っています。開発段階が地域ごとに異なる場合は、最も進んでいるものを記載しています。一部の地域のみで開発している品目については、その地域を記載しています。

** 共同研究により創出された化合物を含みます。

前回の決算発表時(2019年4月)からの変更点:

ASP7517: がんを対象としてPhase 1段階に入った。

FX-322: 感音難聴を対象とした開発をPhase 2プログラムに追加した。

ASP3772: 肺炎球菌感染症の予防を対象とした開発が Phase 2に進展した。

その他(1/2)

疾患領域	一般名 開発コード (製品名)	モダリティ/テクノロジー	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階*	剤形	自社**/導入	備考
がん	AGS-16C3F	抗体薬物複合体(ADC)	抗ENPP3 ADC	腎細胞がん	P- II	注射	自社 [ADC技術をSeattle Genetics から導入]	
	ASP1650	抗体	抗Claudin 6 モノクローナル抗体	精巣がん	P- II	注射	自社 (Ganymed)	
	ASP1235/AGS62P1	抗体薬物複合体(ADC)		急性骨髄性白血病	P- I	注射	自社 [EuCODEを用いた ADC技術をAmbrx から導入]	
泌尿器および 腎疾患	ソリフェナシン YM905	低分子	ムスカリンM ₃ 受容体 拮抗剤	小児の神経因性膀胱	米国 申請(2017年2月)	経口	自社	
	ミラペグロン YM178	低分子	β ₃ 受容体作動薬	小児の過活動膀胱と神経因性膀胱	P- III	経口	自社	
	ASP6294	抗体	神経成長因子中和抗体	膀胱痛症候群/間質性膀胱炎	P- II	注射	自社	
	ASP8302	低分子	ムスカリンM ₃ 受容体陽性 アロステリック修飾物質	低活動膀胱	P- II	経口	自社	
免疫科学	ペフィシチニブ ASP015K	低分子	JAK阻害剤	関節リウマチ	中国 P- III	経口	自社	
	bleselumab ASKP1240	抗体	抗CD40モノクローナル 抗体	生体腎移植患者における再発性巣状系球体硬化症	P- II	注射	協和キリン	

その他(2/2)

疾患領域	一般名 開発コード (製品名)	モダリティ/テクノロジー	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階*	剤形	自社**/導入	備考
その他	エボロクマブ AMG 145 (レパーサ®)	抗体	抗PCSK9モノクローナル 抗体	スタチンによる治療が適さない家族性高コレステロール 血症および高コレステロール血症	日本 承認(2019年6月)	注射	Amgen [アステラス・アムジェ ンと共同開発]	
	フィダキソマイシン	低分子	大環状抗菌剤	小児におけるクロストリジウム・ディフィシル感染症	欧州 申請(2019年1月)	経口	Merck	
	ミカファンギン	低分子	キャンディン系抗真菌剤	新生児および生後120日未満の乳児における 侵襲性カンジダ症	米国 申請(2019年6月)	注射	自社	
	isavuconazole	低分子	アゾール系抗真菌剤	小児における侵襲性アスペルギルス症および 侵襲性ムーコル症	米国 P-II	注射	Basilea	
	ASP0819	低分子	カルシウム活性化 カリウムチャネル開口剤	線維筋痛症	P-II	経口	自社	
	ASP4345	低分子	ドーパミンD ₁ 受容体陽性 アロステリック修飾物質	統合失調症に伴う認知機能障害	P-II	経口	自社	
	MucoRice-CTB	次世代型ワクチン		コレラ菌による下痢症の予防	P-I	経口	東京大学 医科学研究所	
	ASP8062	低分子	GABA _A 受容体陽性 アロステリック修飾物質	物質使用障害	P-I	経口	自社	

* 特に記載のない場合、グローバルで開発を行っています。開発段階が地域ごとに異なる場合は、最も進んでいるものを記載しています。一部の地域のみで開発している品目については、その地域を記載しています。

** 共同研究により創出された化合物を含みます。

前回の決算発表時(2019年4月)からの変更点:

ペフィシテニブ(ASP015K):2019年3月に日本で承認を取得した既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)に関する記載を削除した。
 エボロクマブ(AMG 145):2019年6月に日本でスタチンによる治療が適さない家族性高コレステロール血症および高コレステロール血症を適応症として承認を取得した。
 ミカファンギン:新生児および生後120日未満の乳児における侵襲性カンジダ症を適応症として、2019年6月に米国で申請した。
 ASP8062:物質使用障害を対象としてPhase 1段階に入った。

ペイシェントジャーニー	新技術	内容	コード番号/名称	ビジネスコンセプト	状況	パートナー
			予防・治療	デジタル	科学的根拠を有する運動プログラム	スマートフォンアプリケーション
治療支援	光学	光イメージングを応用した精密手術ガイド	ASP5354	子宮全摘出術等において尿管の場所の把握が可能な精密手術ガイド	第 I 相試験段階	
診断・治療	放射性同位体	放射性同位体標識抗体を用いたセラノスティクス				